

管理サーバの IP アドレス(ホスト名)変更手順

対応バージョン

SSC1.1 / SSC1.2 / SSC1.3

概要

管理サーバのIPアドレス(ホスト名)を変更する場合の、設定変更手順を記載します。

#本文では、IPアドレス変更手順について記載しておりますので、

#ホスト名変更の場合は、IPアドレスをホスト名に読み替えてください。

【SystemProvisinoning】

同一ネットワークセグメント内の IP アドレス変更については、運用管理コンソールにて、「環境設定」→「DPM 情報」タブで、DPM の連携先 IP の設定変更後、「操作」→「データベース情報の再収集」の実行してください。

異なるネットワークセグメントの IP アドレスに変更する場合は、グループで稼働している管理対象サーバをメンテナンスモード設定後、同一ネットワークセグメント内での IP アドレスの変更と同様の手順を行ってください。IP アドレス変更の操作が終わりましたら、メンテナンスモードを解除してください。

【SystemMonitor 性能監視】

管理サーバの IP アドレス変更に対する影響については、SystemMonitor 性能監視 管理コンソールに設定されている管理サーバや監視対象サーバのホスト名として IP アドレスが設定されている場合は、変更後の IP アドレスに設定変更を行う必要があります。

【管理コンソールの設定】

SystemMonitor 性能監視 管理コンソールの設定で、管理コンソールの情報のホスト名として管理サーバの IP アドレスで登録している場合は、設定変更を行ってください。

- 1) メインメニューの[ツール]→[管理コンソール情報]を選択してください。
- 2) [管理コンソール情報]ダイアログの[ホスト名]を確認し、必要に応じて変更してください。
- 3) [OK]ボタンをクリックしてください。

※管理サーバ、SystemMonitor 性能監視管理コンソールを利用していない場合は、本指定は必要ありません。

【管理サーバの接続設定】

SystemMonitor 性能監視 管理コンソールに登録されている管理サーバの IP アドレスが変更される場合は、[ホスト名]に関する設定変更できないため、一旦削除後、変更後の IP アドレスで管理サーバを登録してください。

- 1) メインメニューの[ツール]→[管理サーバの追加登録]を選択してください。
- 2) [管理サーバ]ダイアログが表示されますので、設定後[OK]ボタンをクリックしてください。

【SystemProvisioning の接続設定】

SystemMonitor 性能監視 に登録されている SystemProvisioning 管理サーバ名として、変更された管理サーバの IP アドレス

を指定している場合、設定の変更が必要です。

- 1) メインウィンドウのツリー上で管理サーバを右クリックし、メニューから[環境設定]を選択します。
- 2) [環境設定]ダイアログの[SystemProvisioning]タブの[SystemProvisioning 管理サーバ名]を確認し、必要に応じて変更してください。
- 3) [OK]ボタンをクリックしてください。

※SystemProvisioning 構成情報の反映機能や SystemProvisioning への性能異常通報機能を利用しない場合は、本指定は必要ありません。

[サーバの接続設定]

SystemMonitor 性能監視に登録されている監視対象サーバとして、管理サーバも登録している場合には、設定の変更が必要です。

- 1) メインウィンドウのツリー上でサーバ名を右クリックし、メニューから[サーバ設定]を選択します。
- 2) [サーバ設定]ダイアログが表示されるので、[サーバ名]と[IP アドレス]を確認し、必要に応じて変更してください。
- 3) [OK]ボタンをクリックしてください。

詳細は、SystemMonitor 性能監視ユーザーズガイドを参照してください。

【SystemMonitor 障害監視】

OS 上の IP アドレスの変更のみで動作可能です。

【DeploymentManager】

【管理サーバ for DPM】

DeploymentManager の管理サーバの IP アドレスを変更する際の手順は、「DeploymentManager ユーザーズガイド 基本操作編(Basic Operation)」に記載しておりますので、マニュアルを参照してください。

手順のポイントを記載します。

1) CD-ROM 内の¥TOOLS¥IP¥RegSet1.reg を実行します。

↓

2) 管理サーバの IP アドレスを変更します。

↓

3) Web コンソールから IP アドレスを変更した管理サーバを削除し変更後の IP アドレスで管理サーバを追加した後、設定作業します。

↓

4) CD-ROM 内の¥TOOLS¥IP¥RegSet2.reg を実行します。

↓

5) Web コンソールから管理対象コンピュータにシャットダウンまたは、シナリオ実行します。

【Web サーバ for DPM】

Web サーバ for DPM については、特に設定は必要ありません。

【クライアントサービス for DPM】

ユーザーズガイドには記載しておりませんが、管理サーバと同時に管理対象コンピュータの IP アドレスも変更となる場合には上記の手順 5) の前に以下の手順を追加してください。

・「管理サーバ for DPM」をインストールしたフォルダの下の datafile¥rarp.dat ファイルの名前を変更します。

インストールフォルダ(デフォルト):

C:¥Program Files¥NEC¥DeploymentManager

変更後のファイル名 : rarp.dat.old

※ 5) の操作の際、DPM は対象コンピュータに IP アドレスを使用してシャットダウン等の要求を実行します。

対象コンピュータの IP が変更されている場合は、キャッシュ(rarp.dat)をリネームしておきますと、名前解決によって対象コンピュータに対してコマンドを実行することができます。

【ESMPRO/ServerManager】

管理サーバの IP アドレスを変更した場合、ESMPRO Manager では以下の設定が必要となります。

【ESMPRO Manager がインストールされている管理サーバの設定変更項目】

マネージャ間通信を使用している場合、IP アドレスを変更した Manager マシンとマネージャ間通信を行っている、相手 Manager マシン上の統合ビューアの設定を以下の手順で変更してください。

統合ビューアのメニュー

- [オプション]
- [カスタマイズ]
- [マネージャ間通信]を選択します。

画面に設定されている相手マネージャの IP アドレスを新しい IP アドレスに変更してください。

【ServerAgent がインストールされている管理対象サーバの設定変更項目】

高信頼性通報に Manager マシンの IP アドレス/ホスト名を指定している場合、設定画面を開いて、再設定してください。

- 変更された IP アドレスを設定し OK ボタンで設定画面を閉じてください。
- ホスト名を指定している場合でも、新しい IP アドレスとホスト名を連携させるために、一度設定画面を開いて OK ボタンで設定画面を閉じてください。

SNMPトラップの下記設定で Manager マシンの IP アドレスを設定している場合、変更された IP アドレスで再度設定を行ってください。

- ・ SNMP Trap 送信先に Manager マシンの IP アドレスを指定している場合。
- ・ SNMP サービスのセキュリティ設定にて「これらのホストから SNMP パケットを受け付ける」に Manager マシンの IP アドレスを指定している場合。

【ESMPRO/SA(VMware)の設定変更】

SNMP 通報手段を使用している場合は、「通報基本設定」画面の通報手段一覧から「マネージャ通報(SNMP)」を選択して表示される、[SNMP トラップ設定]画面にてトラップ送信先を変更してください。

SNMP 通報手段以外を使用している場合は、「通報先リストの設定」を選択して表示される[通報先リストの設定]画面にて通報先を変更してください。

※通報設定変更は、コントロールパネル(ESMamsadm)から行ってください。

■ コントロールパネル(ESMamsadm)の起動方法

- 1) root 権限のあるユーザでログインします。
- 2) ESMPRO/ServerAgent がインストールされているディレクトリに移動します。

```
# cd /opt/nec/esmpro_sa
```

- 3) ESMamsadm が格納されているディレクトリに移動します。

```
# cd bin
```

4) コントロールパネル(ESMamsadm)を起動します。

```
# ./ESMamsadm
```

以下のファイルにて、snmpd に対して IP アドレスによるアクセス制限を行っている場合は、IP アドレス変更等の設定変更をしてください。

```
/etc/snmp/snmpd.conf
```

```
/etc/hosts.allow, hosts.deny
```

【SigmaSystemCenter 管理サーバの IP アドレス変更後の注意点】

SigmaSystemCenter 管理サーバの IP Address の変更を行う場合、"クライアント for DPM" の設定や SNMP Trap 送信先など、管理対象サーバでの設定変更が必要となります。

この場合、DeploymentManager によるバックアップイメージの再取得作業を行うこととなりますので、作業日程を確保し、計画的に実施していただくことを強く推奨いたします。

作成日:2008/02/13